

# 愛しの「ユーチューブ」

牧草 泉

リチャード・クレイダーマン  
片思いを慰め、失恋を癒して  
夢を与えてくれた人  
生きることに

それは罵られ、怒鳴られ、嘲笑されること  
それでも耐えて生きてきた

あの、やさしく、甘く、  
孤独を慰めてくれた素敵なお曲

「渚のアデリーヌ」

「アルゼンチンよ、泣かないで」

これらの曲を何度聴いたことか

そうして、荒野へと果敢に歩を進め

必死で責務を全うしてきた

我が人生に悔いはない  
まもなく、老いが  
人生の終焉には  
ハリー・ポルカーのピアノを聴きながら  
静かに逝きたい  
我が人生の良き同伴者  
「ユーチューブ」よ、ありがとう

# 別れるとき

あの人と言った

「会議の席はとつといてあげても

横に座る勇気がなかった

心臓がどきどきして

顔が赤らむのが怖かった

「席は最後まで空いていたぞ」

と誰かが教えてくれた

感激と後悔が錯綜した

白亜の建物を背にして

小さくなつていく

うしろ姿を

二階の窓から見送る

告白できなかつた

臆病だつた

どこからかピアノのメロデイが  
かすかに流れ聞こえてくる  
「渚のアデリーヌ」  
まるで、あの人の背を押すように

# 夢

少年がいた  
日曜日午前十一時  
極東放送から流れるカントリー・ウエスタン  
赤茶けた地底から湧き出るリズム  
そこにハンク・スノーがいた  
少年は嵌った  
ナッシュビルで生が聞きたい  
青年になつた  
恋をし、失恋もした  
夢を真綿で包んで社会に出た  
希望と挫折、信頼と裏切り、友情と諍い  
青年は必死で生きた  
時間が背後を通り過ぎて行つた  
少年は老いた、夢は哭いていた

カ  
ン  
ト  
リ  
ー  
・  
ウ  
エ  
ス  
タ  
ン  
も  
老  
い  
た  
に  
母  
猿  
が  
死  
ん  
だ  
わ  
が  
子  
を  
抱  
く  
よ  
う  
に  
自  
ら  
を  
抱  
き  
し  
め  
て  
荒  
野  
の  
果  
て  
を  
歩  
き  
続  
け  
る  
老  
い  
た  
地  
球  
は  
平  
面  
だ  
っ  
た

# 約束

あら、あなた結婚するの？  
どんなひと？  
あれっ？　口がうまくなつたわね  
結婚したら、ここに来ちゃだめよ  
いいこと？  
恋愛？　それとも見合い？  
恋愛って、ほんと？　知らなかつたわ  
ほんとに、びっくりだわ  
でも、ちようどよかつたわ  
私も、ここを間もなくやめるのよ  
長くいるところじゃないジャン？  
どうするって、私だつて家庭もちたいわ  
うん、あなたに負けない素敵な家庭をね  
お互いに、どんな人生が待ってるのかしら  
十年後に会ってみない？  
どこでって？　二人で行つたじゃない

あ  
の  
梅  
園  
の  
お  
茶  
屋  
さ  
ん  
  
い  
い  
？  
  
絶  
対  
に  
忘  
れ  
ち  
ゃ  
だ  
め  
よ